

令和 3 年 第 5 回大河原町教育委員会定例会会議録

1 招集日時 令和 3 年 5 月 21 日（金）

2 招集場所 大河原町役場 第一会議室

3 出席委員 舟山幸枝委員、一盃森広志委員、丹羽宜博委員、小山明子委員、鈴木洋教育長

4 説明のため出席した者

教育総務課長 佐藤勝弘、生涯学習課長 佐藤圭一、学校教育専門監 山家一博

5 開 会 午後 2 時

6 令和 3 年第 4 回教育委員会定例会会議録の承認について

鈴木教育長 |（委員全員に諮って）承認する。

舟山委員、丹羽委員 署名。

7 教育長報告

（1）一般事務報告について

なし

（2）専決事務報告

なし

8 議 事

議案第 20 号 大河原町障害児就学指導審議会委員の委嘱について

教育総務課長から説明する。

鈴木教育長 |（委員全員に諮って）可決する。

議案第 21 号 大河原町スポーツ推進協力員の委嘱について

生涯学習課長から説明する。

鈴木教育長 |（委員全員に諮って）可決する。

9 その他

（1）教育長報告

1 レジリエンス

(1) 逆境克服に期待（読売新聞世論調査）

国民はオリンピックでは金メダルを取って欲しいと思っているが、困難な状況から立ち上がった人を応援している。レジリエンスに関する復活、勇気を与えてくれる話を、子供達にも伝えて欲しい。

(2) 「池江、東京五輪へ」（河北新聞）

池江選手は、「辛くてしんどくても努力はかならず報われる。」ベネッセの調査では努力を信じる心は学年が上がるにしたがって低下していく報告があるが、池江選手の言葉から努力は必ず報われるということを感じとって欲しい。

(3) 「涙は人間がつくる一番小さな海である」（読売新聞）

編集手帳では、池江選手の言葉を取り上げている。子供達に触れさせることで頑張っていけば、何か良いことがありそうと勇気や自信がもらえるのでは。

(4) 「復活ショ－大谷本塁打王先発勝利 100 年ぶり」（読売新聞）

右ひじの再建手術を受けている。そこから復活して、現在はホームラン王になっている。ケガからの復活をして大活躍をしている。逆境からの復活、困難にも負けない心が大事だと思う。小さな挫折もたくさんあるので乗り越えていく力が必要だと思う。

2 運動会の校長挨拶

天声人語に掲載されたもの。運動会の校長先生の話。1位や2位になれずに一つもリボンを付けてない子に、心のリボンを投げ、励ました話。苦手な子に対する配慮が大切。最後までやったら称える。

3 防災教育

(1) 「教師のための防災学習帳」（小田隆史）

学校運営協議会の取り組みの中に防災教育を取り上げている学校があった。今後も学校が避難所になると思われるので、学校で意識をして防災教育、住民参加の防災教育をいろいろな形で展開して欲しい。

コミュニティスクールは地域の人達が学校運営に参画し、その意見を学校運営に活かしていくものだが、大河原町では、各学校で既にコミュニティスクールと言われる取組が行われているが、防災教育を共通の取り組みとして取り上げて欲しい。

(2) 大河原町防災マップ（校区别）

各校区のハザードマップを作成した。自分の家を確認したり、白石川が氾濫したらどこに避難したらよいかなど、各学級で話合ってもらえる資料。

4 学力向上

(1) 「GIGAスクール」元年の学力向上策（樋口万太郎）

タブレットの使用について各学校で試行錯誤している。大河原町では、まだ家庭と学校のオンラインが繋がっていない。試行中。少しずつ、家庭と学校を結ぶコンテンツを増やしたい。

(2) 自宅学習の強化書（葉一）

「自宅学習の教科書」動画を活用したい。

(3) NKK for school で実現するGIGAの学び

NHKが作ったコンテンツ。自学自習で活用できる。オンラインができなくても既成のコンテンツを使って自分で取り組むことができる。大河原町教育委員会のホームページにも自学の部屋を掲載した。子供達が自ら学習していけるようにしたい。

(4) 学習評価マネジメント

大河原町の考え方と似ている。学習評価を中心とした学力向上策。PDCAサイクルの年間のスパンの中で学習評価をしていく。各小中学校で作成して子供達の力をアップさせていきたい。

(5) 「話し合いづくり」の技術（二瓶弘行）

話方、対話の充実という話す方を指導するが、聞く方も指導すると効果があがる。

5 キャリア教育

○学校事故（施設設備等）

白石第一小学校で大きな事故があった。全国各地のニュースをみると、スライド式黒板やバスケットボールのゴールの落下などがある。学校施設の安全に完璧なものはないと思うので、いかに食い止めるか。教師の毎月の安全点検でも限界がある。教師の責任にするべきでない。設置者が責任を負うべき。先日の地震の後にも数百万かけて体育館の点検を行っているが、学校事故は思いがけなく起こるので気を付けるべき。

6 教育事務所から

(1) 校長・副校長・教頭候補者選考について

学校数が減って、管理職ポストが少なくなっている。激戦になってくる。管理職のため勉強会を開催したい。

(2) 令和4年度宮城県公立学校教員採用候補者選考

気仙沼の地元出身者の少ないところに地域枠をつくって10年間勤務。大崎地区も地域枠ができた。いずれ大河原もそのように少なくなっていくと思う。大河原出身の先生をいかにつくっていく。地域が育った先生が多くいればいいと思う。

(3) 教職員の事故防止（風通しのよい職場づくり）

丹 羽 委 員	防災マップ。大雨が降るとなったら、カワチのところに車を持っていく。どれくらいの町民が知っているのか。大勢の人が持って行ければ。池江選手の言葉。ほとんどの人は難しいのではないのか。アンデルセンの言葉に感動した。
小 山 委 員	リボンの話がグッときた。本物のリボンよりうれしいのではないのか。先生や親が見ているなかでリボンをつけることができてよかった。子供達からも危険なところを、先生等に話をする必要も必要。

教育総務課 一 孟 森 委 員	毎月確認をしているが、違った目線でみることも必要と感じた。 学校の安全点検の報告は、学校と教育委員会をつなぐものであるが、項目を集約をする上でバイアスにかかっているのではないか。ことあるごとに確認する必要もある。設置者が設置したものではないものが事故につながった。卒業記念、スポ少等が設置したもの、外部が設置したもののその後の管理は誰が管理するのか。これから、安易に置けなくなるのか。他の学校では藤棚と東屋が危ないと言われた。町で設置したものではないが、学校が益々寂しくなるのではないかと思う。
鈴木教育長 教育総務課長	蔵王町では、トーテムポールを撤去等の話がある。 大河原町の学校でもある。事故を受けて、自分が設置した遊具の撤去の申し出があり撤去した。使用しないゴールポストも撤去した。金中も保護者会で善意で立ててもらった、バックネットも撤去しようという動きになっている。南小学校も木柱で建てた巣箱も撤去予定である。藤棚も検討する。
一 孟 森 委 員	学力向上関係で、テレビのドラゴン桜を見ているが、学び方で効率よく力を身につけていけるのか、すごく参考になるところがある。楽しいコンテンツがたくさんあるが、どのように効率的に自分のルールに組み立てていくのは、子供が自分でやるのは大変。上手にコーディネートしてくれる大人がいればいいのではないか。そのような観点でかかっている本が見つからない。今後は大切になるのではないか。先生にアドバイスをして欲しい。
鈴木教育長	どのような子供か担任の先生が一番わかっているので、このような家庭学習はどうかと、アドバイスが必要になるのではないか。
小 山 委 員	不登校の子供へのタブレットはどのようになっているのか。家で一人で勉強する環境ができたらいいいのではないか。
山 家 専 門 監	まだ、実際に配布にはなっていないが、試行を重ねながら、実際に家庭でもできるようにしていくのが今後の課題。
教育総務課長 舟 山 委 員 鈴木教育長	大河原中学校でオンラインの取り組みを試行的に行っている。 ヤングケアラーのことが心配になった。町で調査したことあるのか。 3月議会で一般質問があったので、大規模校の校長に確認をしたところ1，2件ある。遅刻して来たり、休みがちな子がいる。家庭の事情により妹の面倒をみるために、遅刻、欠席することがある。本人に聞くと大丈夫と答える。今もスクールソーシャルワーカーに福祉部門、保健部門につないでもらっている。学校だけで解決しないので、町の関係部署等に連携して家庭等の支援が必要。

(2) 課長報告

教育総務課長

夏季休業中のプール開放の中止について

6月の行事予定表の確認

舟山委員

陸上競技大会の振替休日はないのか。

教育総務課長

金中は全員参加するが、大中は一部の生徒なので振替休日はない。

生涯学習課長

新型コロナウイルス感染症対策の体育施設、社会施設の閉鎖について

今後の行事予定について

山家専門監

二学期制の導入について

学習塾等に関する調査集計結果について

鈴木教育長

塾が減ってきている、コロナの影響もあるのではないかと。塾に通っていない子への具体的な取組を考えている。公民館で、大中、金中を対象にした勉強会ができないか検討している。

10 次回教育委員会の開催日程について

鈴木教育長 | 次回は令和3年6月11日（金）午後2時から開会を開催する。

11 閉会宣言 午後3時30分

令和3年6月11日

署名委員

署名委員